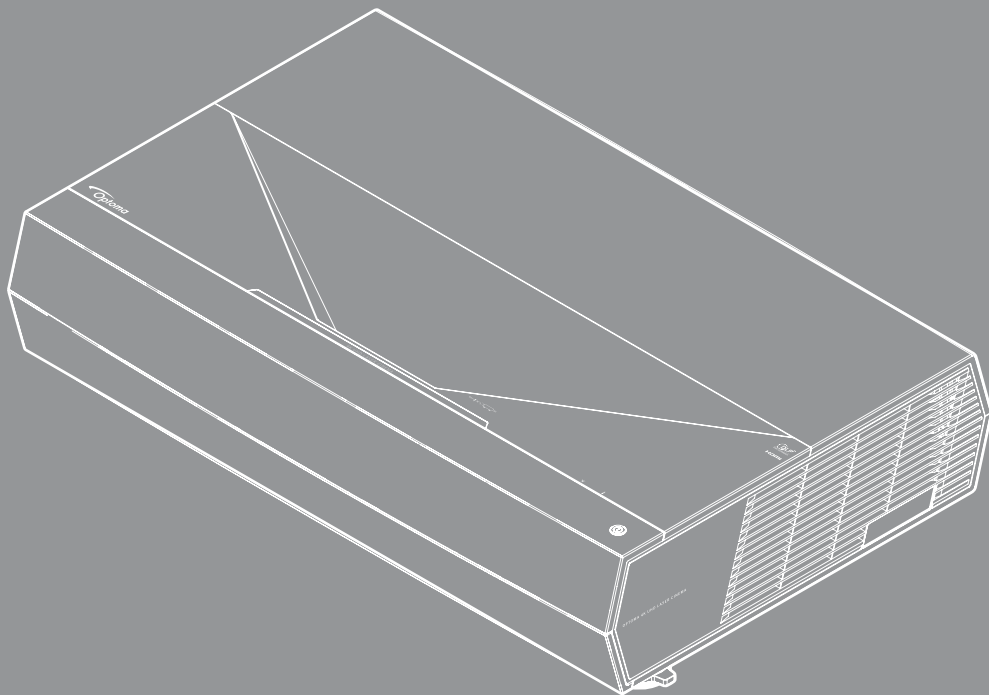




DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル





目次

安全	4
安全に関するご注意.....	4
レンズの清掃.....	5
レーザー放射安全情報.....	6
3D 安全情報.....	7
著作権.....	8
免責条項.....	8
商標認識.....	8
FCC.....	8
EU 諸国への適合宣言.....	9
WEEE.....	9
はじめに	10
パッケージの内容.....	10
標準アクセサリ.....	10
製品の各部名称.....	11
接続.....	12
キーパッドおよび LED インジケーター.....	12
リモコン.....	13
設定と設置	14
ソースをプロジェクターに接続する.....	15
投射画像の調整.....	16
リモコンの準備.....	17
プロジェクターを使用する	19
プロジェクターの電源を入れる/切る.....	19
入力ソースを選択する.....	20
メニューナビゲーションと機能.....	21
OSD メニューツリー.....	22
ディスプレイメニュー.....	27
オーディオメニュー.....	33
セットアップメニュー.....	33
情報メニュー.....	36

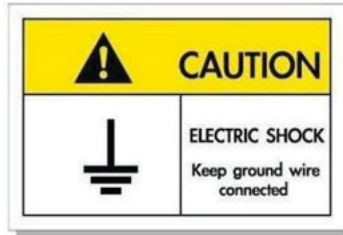
追加情報 37

対応解像度.....	37
イメージサイズと投射距離.....	42
リモコンのコード.....	43
トラブルシューティング.....	45
警告インジケータ.....	46
仕様.....	49
Optoma 社グローバルオフィス.....	50

安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地（アース）してください。

この装置には、3ピン接地タイプの電源プラグが装備されています。

電源プラグの接地ピンを取り外さないでください。

これは安全機能です。プラグをコンセントに差し込めない場合は、電気技師にお問い合わせください。

接地プラグの目的を無効にしないでください。

必ず接地接続を行って下さい。

接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。

安全に関するご注意

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒータブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
 - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
 - (i) 室温が 0°C ~ 40°C (32°F ~ 104°F) の範囲に保たれていることを確認します
 - (ii) 相対湿度は 10% ~ 80% の範囲です
 - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
 - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
 - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
 - 装置を落としたり。

- 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
- プロジェクターに液体をこぼした。
- プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
- プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がある。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

レンズの清掃

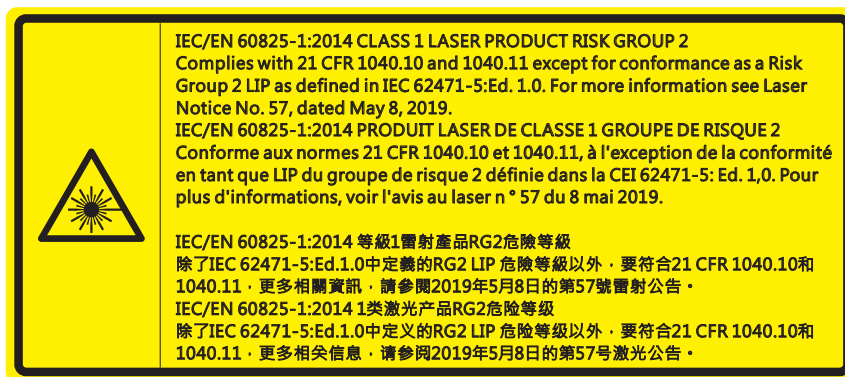
- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。

警告

- レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。
- レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。
- 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

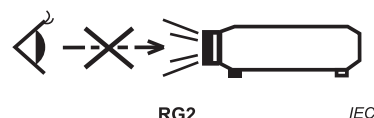
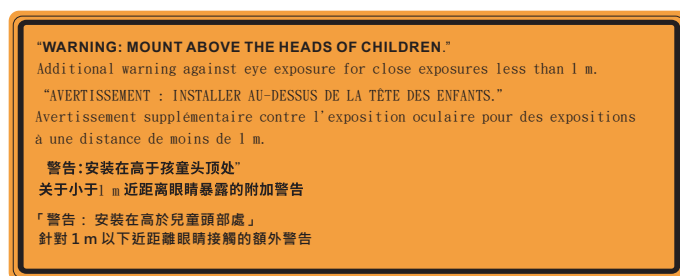
レーザー放射安全情報

- IEC 62471-5:Ed.1.0 で定義されているリスクグループ 2 LIP としての適合性を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。詳細は、2019 年 5 月 8 日付けのレーザー通知第 57 号をご参照ください。



以下を遵守しないと、死亡または重傷につながる可能性があります。

- 本製品には、クラス 4 レーザーモジュールが内蔵されています。分解または改造は非常に危険ですので、絶対に試みないでください。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。
- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- 制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。
- レーザーへの曝露の可能性を回避するための予防策に関する明確な警告を含めて、組み立て、操作、およびメンテナンスに対して適切な指示を行ってください。



IEC 60825-1:2014 クラス 1 RG2
IEC 62471-5:2015 RG2

- お子様を監視するための追加の指示、凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと。
- お子様の手の届かないところに設置するように指示してください。
- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。
- あらゆる明るい光源と同様に、プロジェクターの光線を見つめないようにしてください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- 警告:お子様の目線より上に設置してください。お子様の目線の上に設置する場合、この製品と共に天井マウントを使用することをお勧めします。

3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D 投影の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投影を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投影の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投影の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投影の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投影の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2021

免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

Amazon、Alexa および関連するロゴは、Amazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 (B) に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 (B) du Canada.

EU 諸国への適合宣言

- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- 無線機器指令 (RED) 2014/53/EU

WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。

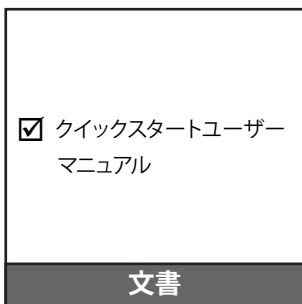
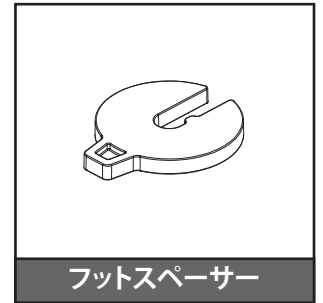
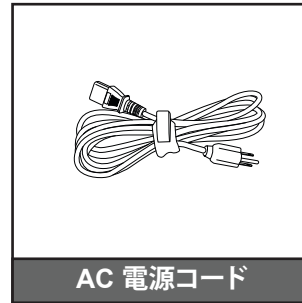
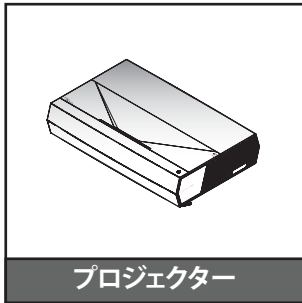
はじめに

パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準付属品に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

標準アクセサリ



注記:

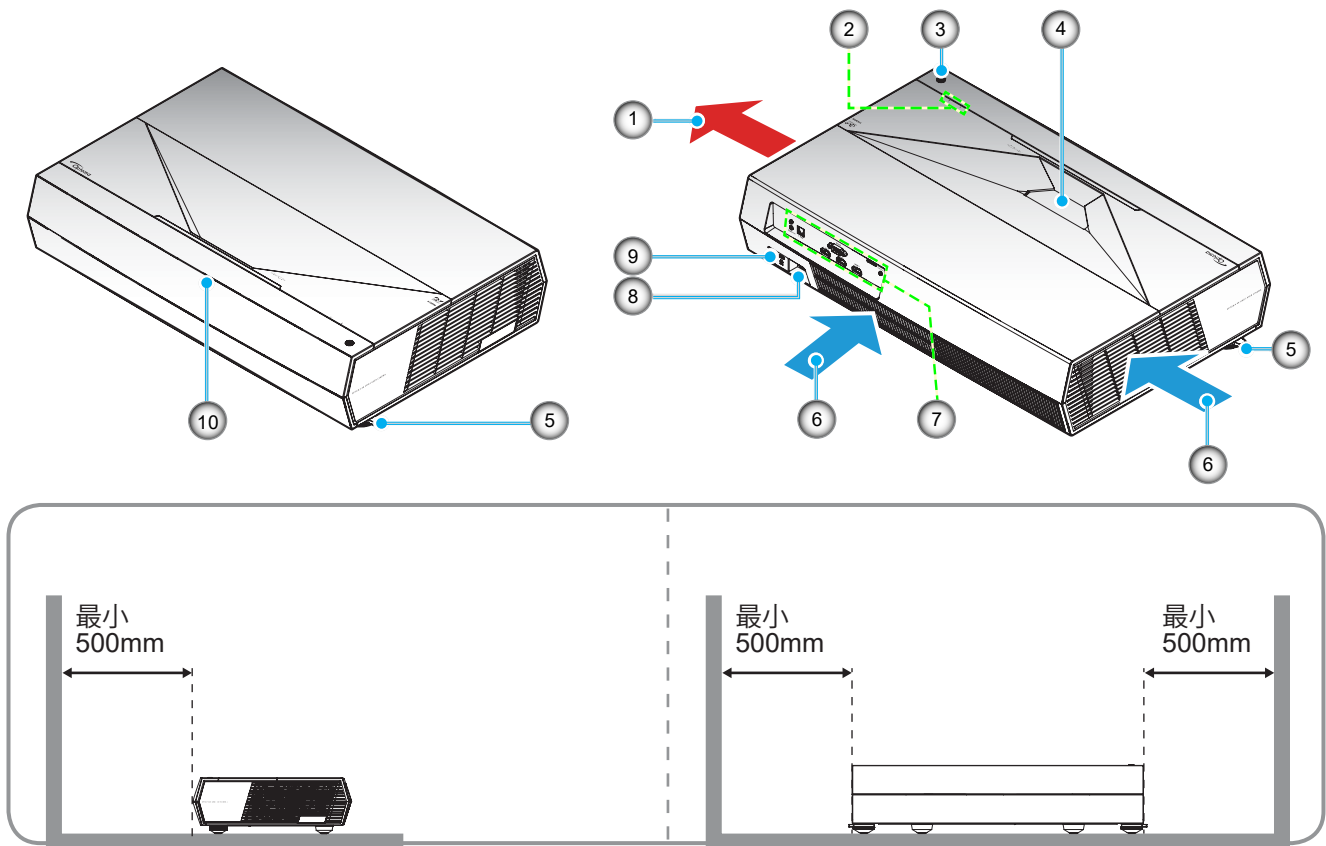
- 実際のリモコンは、地域により変わることがあります。
- (*) 欧州の保証情報については、www.optoma.com にアクセスしてください。



QR コードをスキャンするか、次の URL にアクセスしてください:
<https://www.optoma.com/support/download>

はじめに

製品の各部名称



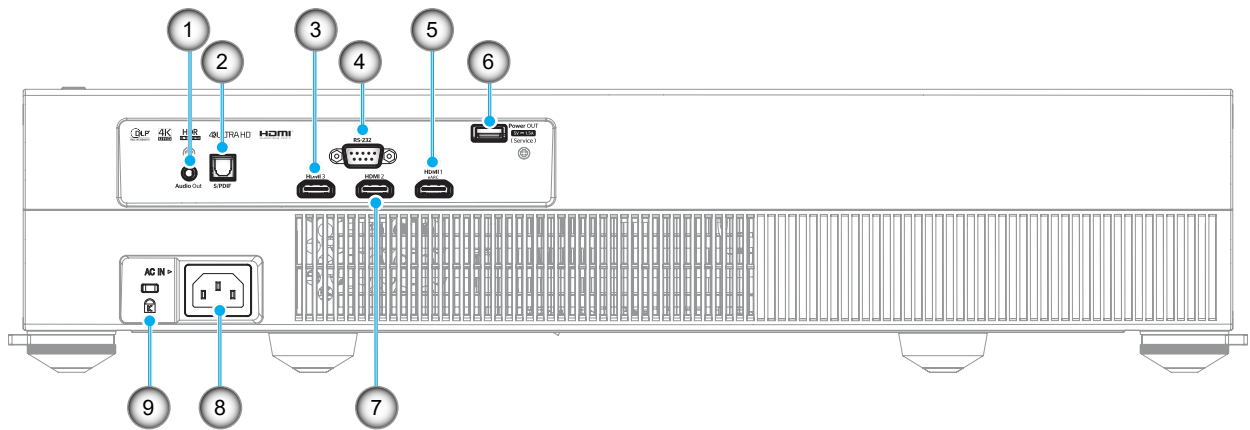
注記:

- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 50cm (19 インチ) 隙間をあけてください。

番号	項目	番号	項目
1.	換気 (排気口)	6.	換気 (吸気口)
2.	LED インジケータ	7.	入/出力
3.	電源ボタン	8.	電源ソケット
4.	レンズ	9.	Kensington™ ロックポート
5.	チルト調整フット	10.	IR レシーバー

はじめに

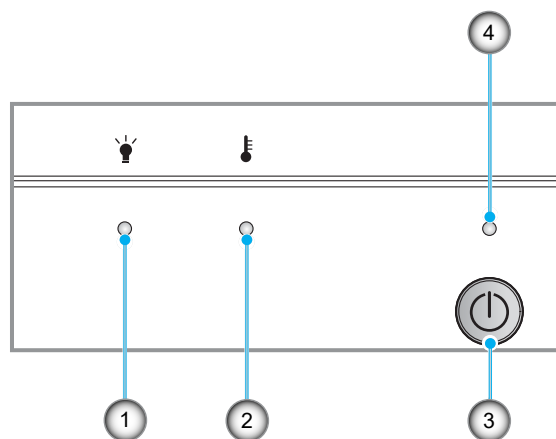
接続



番号	項目	番号	項目
1.	音声出力ポート	6.	USB ポート (電源 5V---1.5A)(*)
2.	S/PDIF ポート (PCM 2 チャンネル、Digital 5.1)	7.	HDMI 2 ポート (HDMI v2.0)
3.	HDMI 3 ポート (HDMI v2.0)	8.	電源ソケット
4.	RS-232 ポート	9.	Kensington™ ロック ポート
5.	HDMI 1 ポート (HDMI v2.0 eARC)		

注記: (*) 携帯電話の充電用には推奨されません。

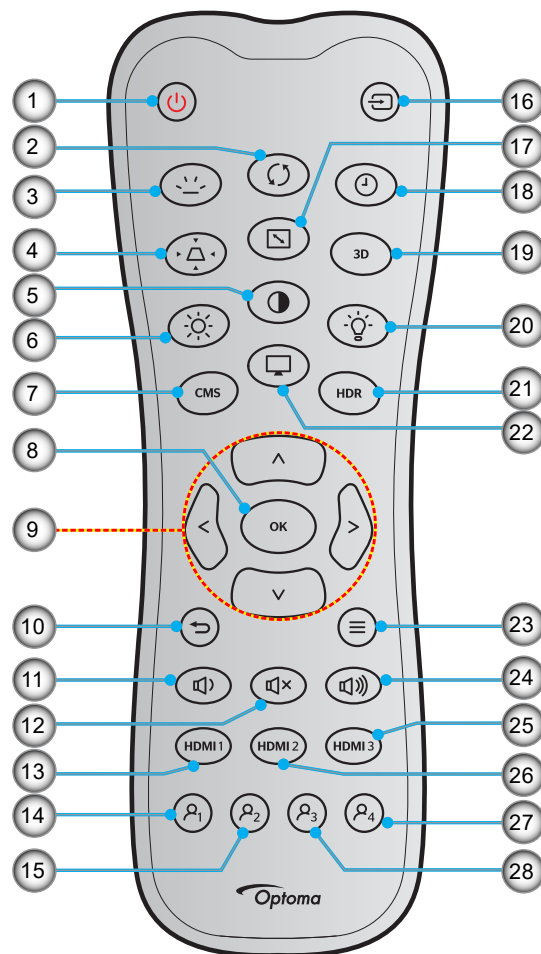
キーパッドおよび LED インジケータ



番号	項目	番号	項目
1.	光源 LED	3.	電源ボタン
2.	温度 LED	4.	電源 LED

はじめに

リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	パワーオン	15.	ユーザー 2 (割り当て可能)
2.	再同期	16.	ソース
3.	バックライト	17.	アスペクト比
4.	キーストン	18.	スリープタイマー
5.	コントラスト	19.	3D メニューオン/オフ
6.	輝度	20.	ランプ
7.	CMS	21.	HDR
8.	入力	22.	モード
9.	4 方向選択キー	23.	メニュー
10.	戻る	24.	音量 +
11.	音量 -	25.	HDMI3
12.	ミュート	26.	HDMI2
13.	HDMI1	27.	ユーザー 4 (割り当て可能)
14.	ユーザー 1 (割り当て可能)	28.	ユーザー 3 (割り当て可能)

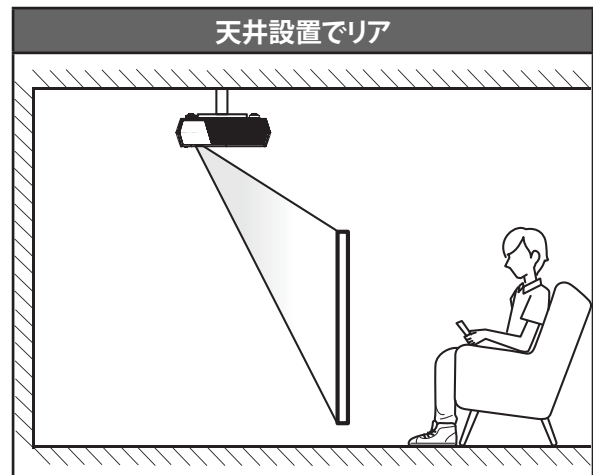
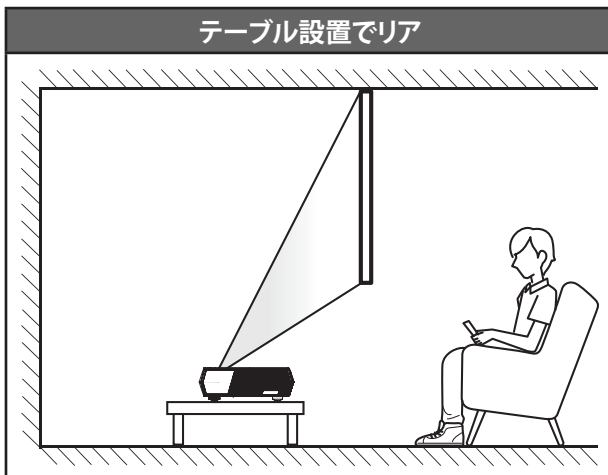
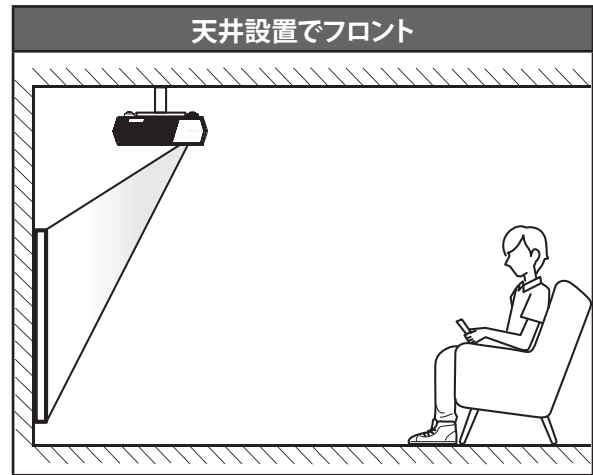
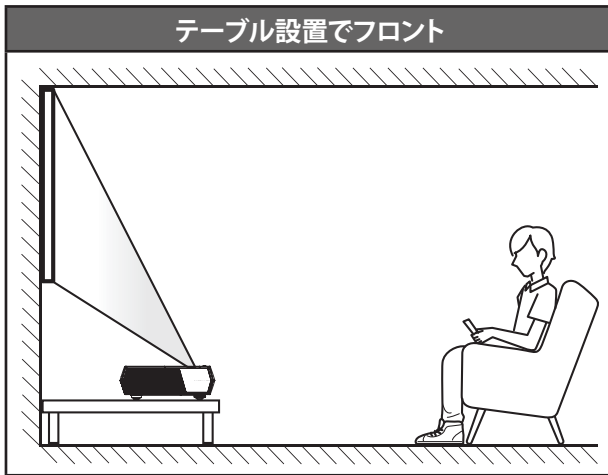
注記:

- 実際のリモコンは、地域により変わることがあります。
- これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。

設定と設置

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、42ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、42ページの距離表を参照してください。

注記:

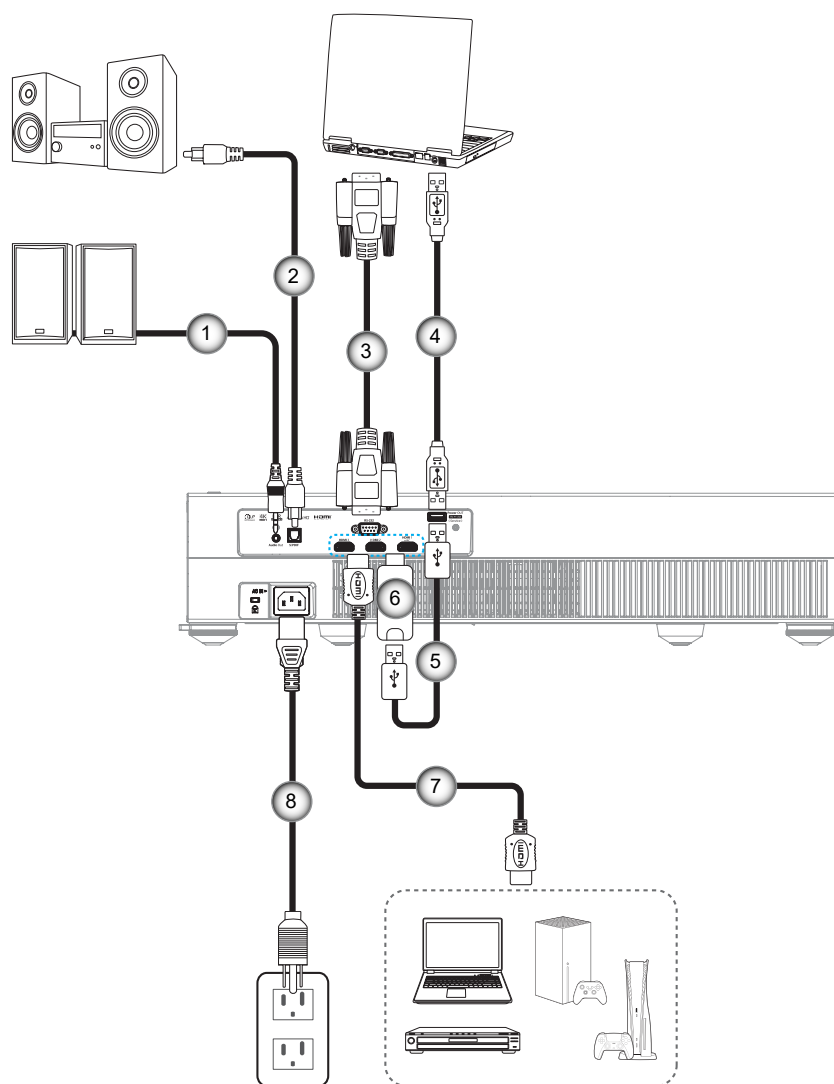
- プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。
- 光学的製造の制限により、垂直オフセットは異なる場合があります。プロジェクターを切り替えるとき、追加調整が発生する可能性があります。

重要!

机上または天井取り付け以外の向きでプロジェクターを操作しないでください。プロジェクターは水平にし、前後または左右に傾けないようにしてください。それ以外の向きは保証を無効にします。また、プロジェクターランプまたはプロジェクター自体の寿命を短くする恐れがあります。非標準設置に関するアドバイスについては、Optoma にお問合せください。

設定と設置

ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目
1.	オーディオ出力ケーブル
2.	S/PDIF 出力ケーブル
3.	RS232 ケーブル
4.	USB ケーブル (サービスのみ/DDP FW アップグレード)

番号	項目
5.	USB 電源ケーブル
6.	HDMI ドンゲル
7.	HDMI ケーブル
8.	電源コード

注記:

- USB マウスまたはキーボードを USB ポートに接続できます。
- 最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、プレミアム HDMI ケーブルを使用してください。20 ~ 25 フィートを超えるケーブル長の場合は、アクティブファイバー HDMI ケーブルを使用することを強くお勧めします。

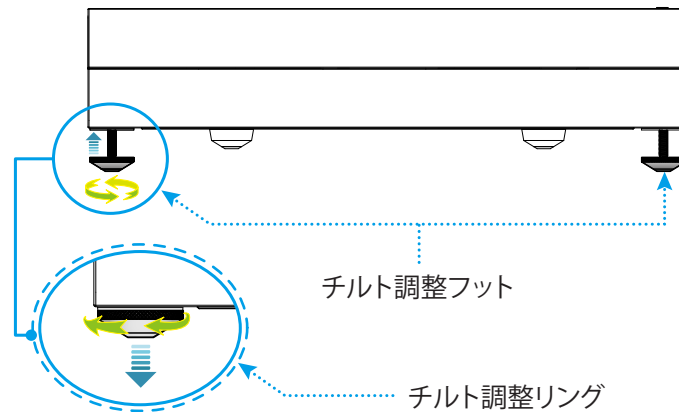
設定と設置

投射画像の調整

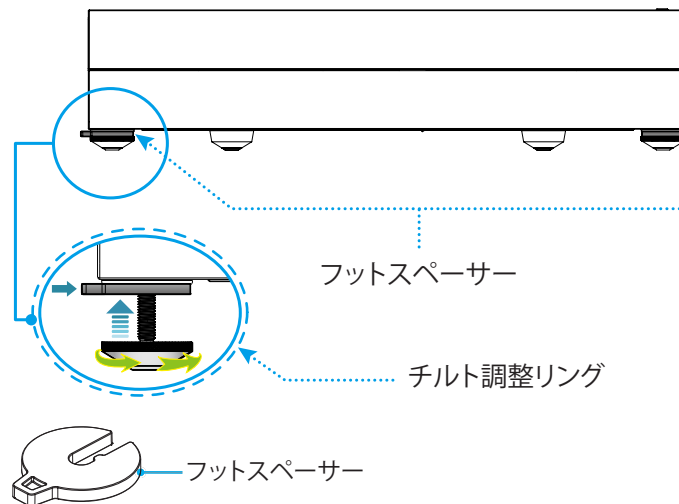
画像の高さ

本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



注記: プロジェクターを水平にする場合は、調整式フットを回転させ、両方のフットにフットスペーサーを取り付けてください。次に、フットを締めてください。



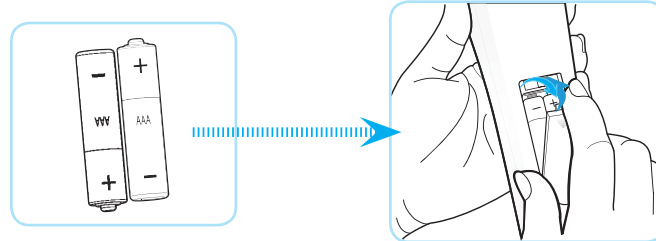
設定と設置

リモコンの準備

電池の取り付け/交換

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

1. リモコンの背面にある電池カバーを外します。
2. 図のように単 4 電池をバッテリーコンパートメントに挿入します。
3. リモコンのカバーを戻します。



注記: 交換には同じ電池か同種の電池のみをご利用ください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

- 異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。
- 古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。
- 使い切った電池はすぐに外してください。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。
- 本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。
- 長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

設定と設置

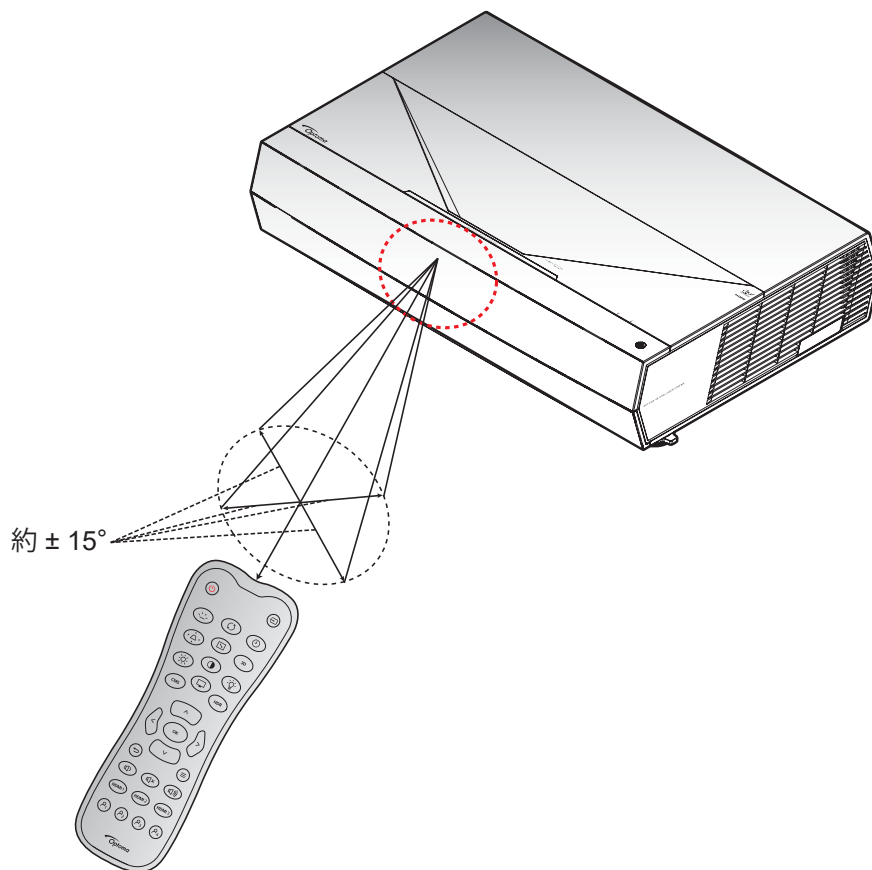
有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーはプロジェクターの前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して ± 15 度以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 6 メートル (19.6 フィート) 以内にする必要があります。

また、投射画像に向けることにより、リモコンを操作できます。

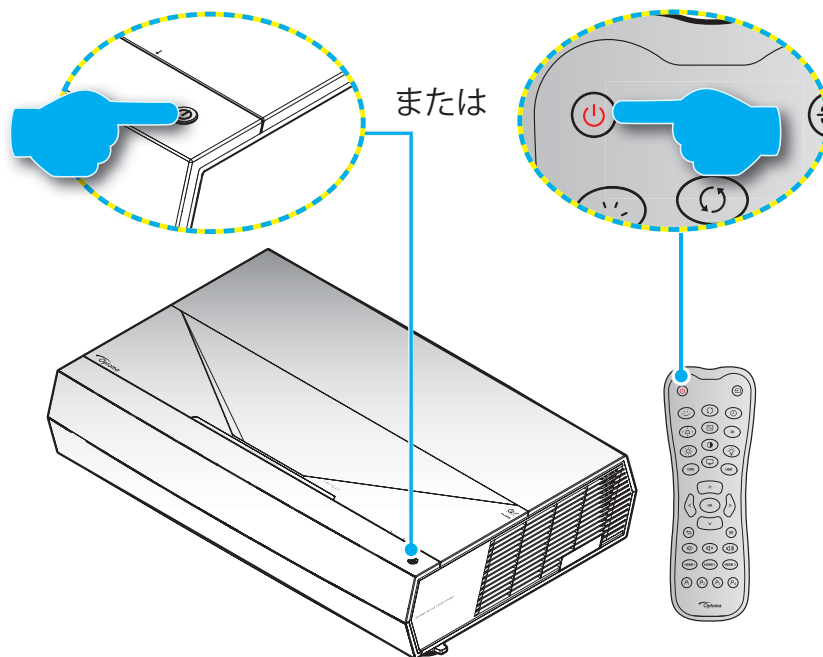
注記: IR センサーに対して直接リモコンを向ける場合 (0 度の角度)、リモコンとセンサーの間の距離が、8 メートル (26.2 フィート) を超えないようにしてください。

- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- Bluetooth ペアリングの場合は、プロジェクターの電源を入れた後、下図の赤色の円でマーク付けした領域にリモコンを向けてください。
- スタンバイ電源モードが「エコ」に設定されている場合は、プロジェクターの電源を入れた後、IR レシーバーにリモコンを直接向けてください。



プロジェクターを使用する

プロジェクターの電源を入れる/切る



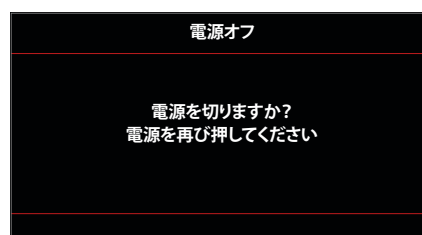
パワーオン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。正しく接続されると、電源 LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドの [⏻] またはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 20 秒後に表示され、電源 LED が白色に点滅します。

注記: 初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向、その他の設定を選択するように求められます。

電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドの [⏻] またはリモコンの [⏻] を押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



3. [⏻]/[⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、10 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻]/[⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約 10 秒間作動し続けて冷却を行うと、電源 LED が白色に点滅します。電源 LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻]/[⏻] ボタンを押すだけで、プロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

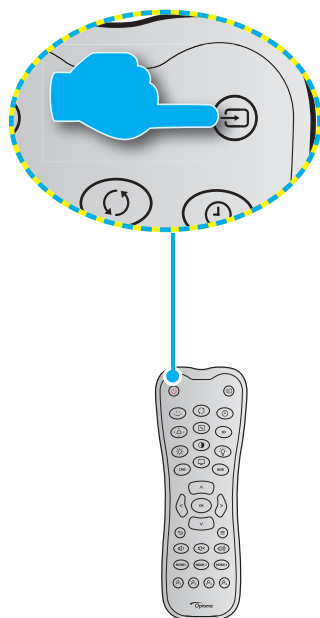
注記: 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

起動中、電源 LED は白色に点滅し、通常動作中、電源 LED は白色に点灯します。

プロジェクターを使用する

入力ソースを選択する






スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオ プレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [ソース] ボタンを押し、入力を選択します。

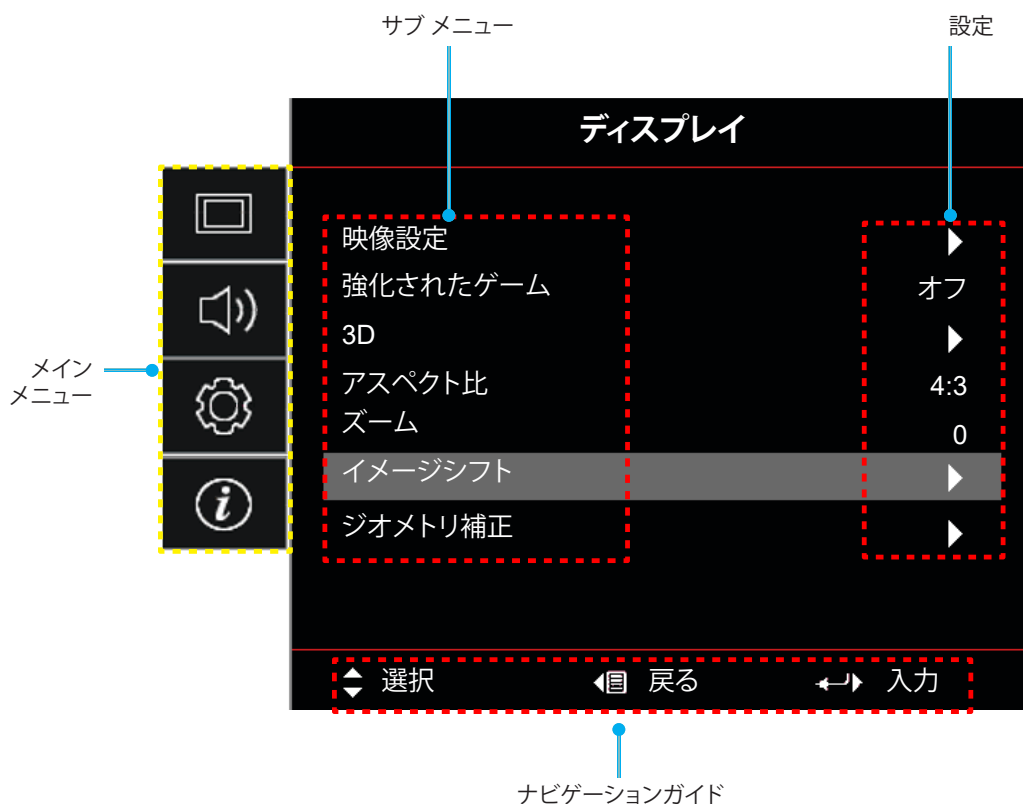


プロジェクターを使用する

メニューナビゲーションと機能

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。

1. OSDメニューを開くには、リモコンの  ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら、▲▼キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、リモコンの  ボタンを押して、サブメニューに進みます。
3. ◀▶キーを使って、サブメニューで希望のアイテムを選択し、 ボタンを押して、詳細設定を表示します。◀▶キーによって設定を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5.  ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度  ボタンを押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。



プロジェクターを使用する

OSD メニューツリー

注記: OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルと地域によって異なります。Optoma は、通知なしに製品の性能を向上させるために、項目を追加または削除する権利を留保します。

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
ディスプレイ	映像設定	ディスプレイモード	[ビデオ] モード		シネマ	
					フィルム	
					HDR	
					HLG	
					HDR SIM.	
					ゲーム	
					リファレンス	
					ブライト	
					ユーザー	
					3D	
					ISF Day	
					ISF Night	
					ISF 3D	
			壁紙色		オフ [デフォルト]	
					黒板	
					ライトイエロー	
					ライトグリーン	
					ライトブルー	
					ピンク	
			ダイナミックレンジ	HDR/HLG		オフ
						自動 [デフォルト]
				HDRモード		ブライト
						標準 [デフォルト]
						フィルム
				HLGモード		詳細
						ブライト
						標準 [デフォルト]
						フィルム
						詳細
				HDR動作輝度		0 ~ 10
				輝度		-50 ~ 50
				コントラスト		-50 ~ 50
				シャープネス		1 ~ 15
		カラー		-50 ~ 50		
		色あい		-50 ~ 50		

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値			
ディスプレイ	映像設定	ガンマ	フィルム					
			ビデオ					
			グラフィック					
			標準 (2.2)					
			1.8					
			2.0					
			2.4					
		色設定		BrilliantColor™			1 ~ 10	
					色温度		Warm	
							標準	
							クールホワイト	
						冷色		
				カラーマッチング	カラー		赤 [デフォルト]	
							緑	
							青色	
							シアン	
							黄	
							マゼンタ	
							白(*)	
							色あい / R(*)	-50 ~ 50 [デフォルト:0]
							彩度 / G(*)	-50 ~ 50 [デフォルト:0]
							ゲイン / B(*)	-50 ~ 50 [デフォルト:0]
					リセット	キャンセル [デフォルト]		
						はい		
					戻る			
				RGB ゲイン/ バイアス		赤ゲイン	-50 ~ 50	
						緑ゲイン	-50 ~ 50	
						青ゲイン	-50 ~ 50	
						赤バイアス	-50 ~ 50	
						緑バイアス	-50 ~ 50	
		青バイアス	-50 ~ 50					
		リセット	キャンセル [デフォルト]					
			はい					
	戻る							
カラースペース (非 HDMI 入力)			自動 [デフォルト]					
			RGB					
			YUV					
カラースペース (HDMI 入力)			自動 [デフォルト]					
			RGB (0 ~ 255)					
			RGB (16 ~ 235)					
			YUV					






プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値		
ディスプレイ	映像設定	ブライテネスモード			ダイナミックブラック		
					エコ		
					定電力モード 消費電力 = 100%/95%/90%/85%/80%/75%/70%/65%/60%/55%/50%		
				定輝度モード 消費電力 = 85%/80%/75%/70%			
		リセット					
	強化されたゲーム					オフ	
						オン	
	3D	3D モード				オフ [デフォルト]	
						オン	
		3D 同期反転				オン	
	アスペクト比					オフ [デフォルト]	
						オン	
						オン	
						オフ [デフォルト]	
						4:3	
						16:9	
						21:9	
	ズーム					32:9	
						垂直ストレッチ	
						全画面表示	
						自動	
	ズーム					-5 ~ 25 [デフォルト:0]	
	イメージシフト	映像水平位置 					-100 ~ 100 [デフォルト:0]
映像垂直位置 						-100 ~ 100 [デフォルト:0]	
ジオメトリ補正	4コーナー						
	水平キーストン					-10 ~ 10 [デフォルト:0]	
	垂直キーストン					-10 ~ 10 [デフォルト:0]	
	3x3 ワープ						
	リセット						
オーディオ	オーディオモード					スピーカー/オーディオ出力 [デフォルト]	
						SPDIF / eARC	
	ミュート					オフ [デフォルト]	
						オン	
音量						0 ~ 10 [デフォルト:5]	
セットアップ	設置モード					フロント  [デフォルト]	
						リア 	
						天井 - トップ 	
						リア - トップ 	
	電源設定	電源検知オートパワーオン					オフ [デフォルト]
							オン
		信号検知オートパワーオン					オフ [デフォルト]
						オン	
	自動パワーオフタイマー (分)					0 ~ 180 (5 分の増分) [デフォルト:20]	

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
セットアップ	電源設定	スリープタイマー (分)	常にON		0 ~ 990 (30 分の増分) [デフォルト:0]	
					いいえ [デフォルト]	
					はい	
			電源モード (スタンバイ)			アクティブ (SmartHome)
					エコ [デフォルト]	
					オフ [デフォルト]	
		USB 電源 (スタンバイ)			オン	
				オフ		
				オン		
	セキュリティ	セキュリティ			オフ	
					オン	
		セキュリティタイマー	月			
			日 時			
		パスワード変更			[デフォルト:1234]	
	HDMIリンク設定	HDMIリンク			オフ [デフォルト]	
					オン	
		モニター連動			いいえ [デフォルト]	
					はい	
		電源オン設定			双方向設定 [デフォルト]	
					プロジェクター->デバイス デバイス->プロジェクター	
	電源オフ設定			オフ [デフォルト]		
				オン		
	テストパターン				緑のグリッド	
					マゼンタのグリッド	
					白グリッド	
					白	
					オフ	
	リモコン設定	ユーザー 1			「フォーカス -」に固定します	
		ユーザー 2			「フォーカス +」に固定します	
		ユーザー 3			「HDMI3」に固定します	
	プロジェクター ID				00 ~ 99	
	フォーカス				(「左」または「右」を押してください)	
	目の保護センサー				オン [デフォルト]	
				オフ		
オプション	言語				English [デフォルト]	
					Deutsch	
					Français	
					Italiano	
					Español	
					Português	
					简体中文	
					繁體中文	
					日本語	
					한국어	
				Русский		

プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー 1	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
セットアップ	オプション	メニュー設定	メニュー位置		左上 	
					右上 	
					中央  [デフォルト]	
					左下 	
					右下 	
			メニュータイマー		オフ	
				5sec		
				10sec [デフォルト]		
			自動ソース		オフ [デフォルト]	
			入力ソース		オン	
					HDMI1	
					HDMI2	
			入力名		HDMI3	
					HDMI1	デフォルト [デフォルト] / カスタム
					HDMI2	デフォルト [デフォルト] / カスタム
					HDMI3	デフォルト [デフォルト] / カスタム
			高地モード			オフ [デフォルト]
			ディスプレイモードロック			オン
						オフ [デフォルト]
			情報を表示しない			オン
					オフ [デフォルト]	
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]	
					ロゴ無し	
			背景色			なし [ビデオ/ Pro-AV のデフォルト]
						青色 [データモデルのデフォルト]
					赤	
					緑	
				グレー		
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]	
					はい	
		初期状態にリセット			キャンセル [デフォルト]	
					はい	
情報	制御					
	シリアル番号					
	ソース					
	解像度				00x00	
	リフレッシュレート				0.00Hz	
	ディスプレイモード					
	プロジェクター ID				00 ~ 99	
	ブライトネスモード					
	FW バージョン	システム				
MCU						

注記: 機能は、モデル定義により異なります。

プロジェクターを使用する

ディスプレイメニュー

映像設定メニュー

ディスプレイモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **シネマ:** 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **HDR:** 他のディスプレイモードの色性能を超える、非常に正確な色を提供します。このモードは、ハイダイナミックレンジ (HDR) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。
注記: このモードは、HDR が自動的に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR コンテンツがプロジェクターに送信されます - 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HDR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR モードがアクティブな間、他のすべてのディスプレイモードはグレー表示されません。
- **HLG:** 他のディスプレイモードの色性能を超える、非常に正確な色を提供します。このモードは、ハイブリッドログ (HLG) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。
注記: HDR が自動設定されている場合 (および HLG コンテンツがプロジェクタに送信される場合)、このモードは自動的に有効になります。HLG モードがアクティブな間、他のすべてのディスプレイモードはグレー表示されます。
- **HDR SIM.:** ハイダイナミックレンジ (HDR) をシミュレートし、非 HDR コンテンツの画質を上げます。このモードを選択すると、非 HDR コンテンツ (720p および 1080p ブロードキャスト/ケーブル TV、1080p Blu-ray、非 HDR ゲームなど) のガンマ、コントラスト、彩度が高まります。
注記: このモードは HDR 以外のコンテンツでのみ利用できます。
- **ゲーム:** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクタを最適化します。
注記: このディスプレイモードは、HDR ビデオコンテンツを表示したり、HDR ゲームをプレイしたりする場合は使用できません。低入力遅延を有効にするには、PC またはコンソールが HDMI1 に接続されていることを確認し、拡張ゲームモードを有効にしてください。
- **リファレンス:** このモードは、映画監督が意図したように、画像にできるだけ近い色を再現します。色、色温度、輝度、コントラスト、ガンマの設定はすべて Rec.709 の色域に設定されています。映画を見ているときに最も正確な色再現を行うには、このモードを選択します。
- **ブライト:** このモードは、明るい部屋でプロジェクタを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **ユーザー:** ユーザー定義の設定を記憶し、独自のディスプレイモード設定を調整します。
- **3D:** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。
注記: 3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。
- **ISF Day:** 日中の表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。
- **ISF Night:** 夜間の表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。
- **ISF 3D:** 3D 表示用に最適化された、専門的に校正された画像設定を保存します。

注記:

- ISF モードは専門的に校正する必要があります。ISF モードをロック解除してアクセスするには、リモートまたはキーパッドを使用して次のコードを入力する必要があります: 電源 > 上 > 下 > 上 > 上。
- ISF モードは、ビデオモードでのみ使用できます。

プロジェクターを使用する

- HDR または HLG が有効になっている場合、シネマ、フィルム、ビビッド、ゲーム、リファレンス、ブライト オプションはグレー表示されます。

壁紙色

スクリーンのない壁に投影するときに、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

注記: 正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR) 設定およびその効果を構成します。

▶ HDR/HLG

- **オフ:** HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。
- **自動:** HDR 信号を自動検出します。

▶ HDRモード

- **ブライト:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

▶ HLGモード

- **ブライト:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。
- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

▶ HDR動作輝度

- HDR の輝度レベルを調整します。

輝度

画像の輝度を調整します。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

プロジェクターを使用する

ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **ビデオ:** ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **標準 (2.2):** 標準化された設定用。
- **1.8 / 2.0 / 2.4:** 特定の PC/写真ソース用。2.4 は、ビデオコンテンツやゲームにも使用でき、より深いコントラストを実現できます。

色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™:** 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度:** Warm、標準、クールホワイト、冷色から色温度を選択します。
- **カラーマッチング:** 次のオプションを選択します:
 - カラー: 画像の赤 (R)、緑 (G)、青 (B)、シアン (C)、黄 (Y)、マゼンタ (M)、白 (W) レベルを調整します。
 - 色あい: 赤と緑のカラーバランスを調整します。
 - 彩度: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。
 - ゲイン: 画像の明るさを調整します。
 - リセット: カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
 - 戻る: [カラーマッチング] メニューを終了します。
- **RGB ゲイン/バイアス:** この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。
 - リセット: RGB ゲイン/バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
 - 戻る: [RGB ゲイン/バイアス] メニューを終了します。
- **カラースペース:** 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB (0 ~ 255)、RGB (16 ~ 235)、YUV。

ブライトネスモード

ブライトネスモードの設定を調整します。

- **ダイナミックブラック:** 最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。
- **エコ:** 「エコ」を選択するとプロジェクターレーザーのダイオードを減らして電源消費量を少なくし、レーザーダイオードの寿命を延長することができます。
- **定電力モード:** ブライトネスモードの消費電力パーセンテージを選択します。
- **定輝度モード:** 定輝度モードでは、時間が経過しても輝度を一定に維持するように、LD 輝度の強度を変化させます。

リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

エンハンスドゲーミングメニュー

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 4 ミリ秒* に低減します。

注記:

- HDMI1 のみをサポートします。
- * 1080p 240Hz 信号の場合のみ。
- 信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。
- 表の値は若干変動する場合があります。

ソースタイミング	強化されたゲーム	出力	出力解像度	入力遅延
1080p60	オン	1080p60	1080p	17ms
1080p120	オン	1080p120	1080p	8.6ms
1080p240	オン	1080p240	1080p	4ms
4K60	オン	4K60	4K	16.9ms
1080p60	オフ	1080p60	1080p	33.8ms
1080p120	オフ	1080p120	1080p	17ms
1080p240	オフ	1080p240	1080p	8.6ms
4K60	オフ	4K60	4K	33.7ms

- 「強化されたゲーム」モードが有効になっている場合、アスペクト比、ズーム、イメージシフト、4コーナー および垂直キーストン機能は自動的に無効になります。予めご了承ください。「強化されたゲーム」モードを無効にすると、これらの機能は再び有効になります。

3D メニュー

3D モード

このオプションを使って、3D モード機能を有効/無効にします。

3D 同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

アスペクト比メニュー

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3:** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9/21:9/32:9:** ワイド スクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9/21:9/32:9 入力用です。
- **垂直ストレッチ:** このモードでは、2.35:1 画像が垂直方向に引き伸ばされ、黒いバーが削除されます。
- **全画面表示:** この特殊 2.0:1 アスペクト比を使って、画面の上部および下部の黒いバーなく、16:9 および 2.35:1 アスペクト比の映画を表示します。
- **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

注記:

- 強化されたゲーム、3x3 ワープ、4コーナー機能が有効になっている場合、「アスペクト比」オプションはグレー表示されます。
- 垂直ストレッチ モードに関する詳細情報:
 - 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、垂直ストレッチ モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。
 - 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、この垂直ストレッチ モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます。

プロジェクターを使用する

- 全画面表示フォーマットを使用するには、以下を行います：
 - 画面のアスペクト比を 2.0:1 に設定します。
 - 「全画面表示」フォーマットを選択します。
 - プロジェクターの画像を画面に正しく合わせます。

4K UHD DMD のマッピングルール:

16:9 画面	480i/p	576i/p	720p	1080i/p	2160p
4x3	2880 x 2160 に調整します。				
16x9	3840 x 2160 に調整します。				
21x9	3840 x 1644 に調整します。				
32x9	3840 x 1080 に調整します。				
垂直ストレッチ	中央の 3840 x 1620 画像を取得し、その後、3840 x 2160 にサイズ変更して表示します				
全画面表示	5068 x 2852 (132% 拡大) に上げ、次に中央 3840 x 2160 画像を表示します 注記: この形式を利用し、2.35:1 ソースの字幕なしを表示し、100% の UHD DMD を実現できません。				
自動	<ul style="list-style-type: none"> - ソースが 4:3 の場合、2880 x 2160 に自動的にサイズ変更されます - ソースが 16:9 の場合、3840 x 2160 に自動的にサイズ変更されます - ソースが 15:9 の場合、3600 x 2160 に自動的にサイズ変更されます - ソースが 16:10 の場合、3456 x 2160 に自動的にサイズ変更されます 				

自動マッピングルール:

	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	3840	2160
4:3	800	600	2880	2160
	1024	768	2880	2160
	1280	1024	2880	2160
	1400	1050	2880	2160
	1600	1200	2880	2160
ワイドノート PC	1280	720	3840	2160
	1280	768	3600	2160
	1280	800	3456	2160
SDTV	720	576	2700	2160
	720	480	3240	2160
HDTV	1280	720	3840	2160
	1920	1080	3840	2160

プロジェクターを使用する

ズームメニュー

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。

注記: ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。

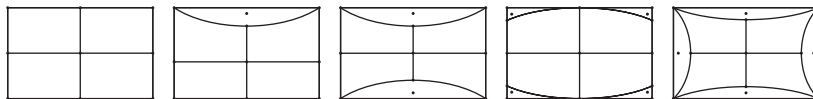
イメージシフトメニュー

投影される画像位置を水平 (映像水平位置) または垂直 (映像垂直位置) に調整します。

注記: 水平および垂直キーストンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。

ジオメトリ補正メニュー

- **4コーナー:** この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。
注記: 4コーナーを調整中、ズーム、アスペクト比、イメージシフト、3x3 ワープメニューは無効になっています。ズーム、アスペクト比、およびイメージシフトを有効にするには、4コーナー設定を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。
- **水平キーストーン:** 画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストーンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストーン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **垂直キーストーン:** 画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストーンは、上下が片側に傾いているキーストーン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。
- **3x3 ワープ:** 9 点補正で画像の歪みを調整します。



- **リセット:** ジオメトリ補正を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

注記: 拡張ゲームモードを使用する場合、設定が入力遅延に影響を与えるため、4 コーナー、水平キーストーン、垂直キーストーン、3x3 ワーピングは無効になります。入力遅延を小さくするために拡張ゲームモードを使用する場合は、4 コーナー、水平キーストーン、垂直キーストーン、3x3 ワーピングを使用せずにプロジェクターをセットアップすることを強くお勧めします。

プロジェクターを使用する

オーディオメニュー

オーディオモード

適切なオーディオモードを選択します。

注記:

- 選択したオーディオモードは、すべてのソースに適用されます。
- プロジェクターは、スピーカー/オーディオ出力モードを自動的に検出します。
- eARC 機能は HDMI1 ソースでのみサポートされています。
- 現在の入力オーディオフォーマットが PCM でない場合、オーディオモードが変更された後、システムは再同期します。

ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。
- **オン:** 「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。

注記: ミュート機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

音量

音量レベルを調整します。

セットアップメニュー

設置モード

正面、裏面、天井 - 上部、および裏面 - 上部からお好みの投影を選択します。

電源設定

電源設定を構成します。

- **電源検知オートパワーオン:** [オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。
- **信号検知オートパワーオン:** [オン] を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

注記:

- [信号検知オートパワーオン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。
- この機能は HDMI ソースに適用されます。
- 「信号検知オートパワーオン」は一度に 1 つのポートのみをサポートします。
- **自動パワーオフタイマー(分):** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。
- **スリープタイマー (分):** スリープタイマーを設定します。
 - スリープタイマー (分): カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

注記: スリープタイマーは、プロジェクターを電源オフにするたびにリセットされます。

- 常にON: スリープタイマーが常にONに設定されていることを確認します。

プロジェクターを使用する

- **電源モード (スタンバイ):** 電源モードを設定します。
 - アクティブ: 「アクティブ」を選択すると通常スタンバイに戻ります。
 - エコ: 「エコ」を選択すると、節電モードになります (< 0.5W)。
- **USB 電源 (スタンバイ):** プロジェクターがスタンバイモードのとき、USBパワー機能を有効または無効にします。

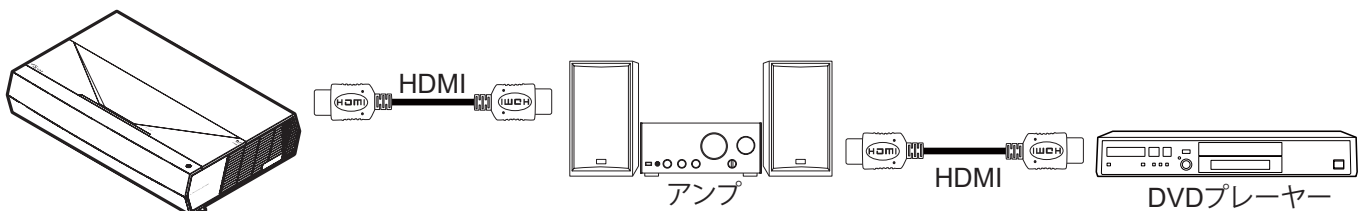
セキュリティ

セキュリティ設定を構成します。

- **セキュリティ:** プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。
 - オフ: [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクターの電源を入れることができます。
 - オン: [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
注記: デフォルトのパスワードは「1234」です。
- **セキュリティタイマー:** 時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクタから再度パスワードを入力するよう要求されます。
- **パスワード変更:** プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

HDMIリンク設定

注記: HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



- **HDMIリンク:** HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。
- **モニター連動:** 設定が「はい」に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。
- **電源オン設定:** CEC 電源オンコマンド。
 - 双方向設定: プロジェクターと CEC デバイスが両方同時にオンになります。
 - プロジェクター->デバイス: プロジェクターがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
 - デバイス->プロジェクター: CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクターのスイッチがオンになります。
- **電源オフ設定:** この機能を有効にして、HDMI Link とプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

テストパターン

テストパターンを 緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白グリッド、白 から選択するか、この機能 (オフ) を無効にします。

リモコン設定

- **ユーザー 1:** 「フォーカス -」に固定します。
- **ユーザー 2:** 「フォーカス +」に固定します。
- **ユーザー 3:** 「HDMI3」に固定します。

プロジェクターを使用する

プロジェクター ID

ID 定義をメニュー (0~99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

フォーカス

リモコンの **[ユーザー1]** または **[ユーザー2]** ボタンを押して、フォーカスを自動的に調整します。

目の保護センサー

目の保護センサーを有効にすると、物体がプロジェクターの光線に非常に近いとき、ライトが一時的にオフになります。

オプション

プロジェクターのオプションを構成します。

- **言語:** 多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語、韓国語およびロシア語から選択します。
- **メニュー設定:** 画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。
 - **メニュー位置:** スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
 - **メニュータイマー:** OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。
- **自動ソース:** 利用可能な入力ソースをプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。
- **入力ソース:** 入力ソースとして HDMI1、HDMI2、HDMI3 を選択します。
- **入力名:** 簡単に特定できるように入力機能の名前を変更するために使用します。HDMI1、HDMI2、HDMI3 を選択できます。
- **高地モード:** [オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。
- **ディスプレイモードロック:** [オン] または [オフ] を選択し、表示モード設定の調整をロックまたはロック解除します。
- **情報を表示しない:** この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。
 - **オフ:** [オフ] を選択すると、[検索中] メッセージが表示されます。
 - **オン:** [オン] を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。
- **ロゴ:** この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。
 - **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
 - **ロゴ無し:** ロゴは起動画面に表示されません。
- **背景色:** 信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、または、なしを表示します。

リセット

プロジェクターをリセットします。

- **OSDをリセット:** OSD メニューの設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。
- **初期状態にリセット:** すべての設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

プロジェクターを使用する

情報メニュー

以下に示すプロジェクター情報を表示します:

- 制御
- シリアル番号
- ソース
- 解像度
- リフレッシュレート
- ディスプレイモード
- プロジェクター ID
- ブライトネスモード
- FW バージョン

追加情報

対応解像度

ビデオの互換性

信号	解像度
SDTV	480i/p、576i/p
HDTV	720p (50/60Hz)、1080i (50/60Hz)、1080p (24/50/60Hz)
UHD	2160p (24/50/60Hz)

ビデオタイミングの詳細:

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	注記
SDTV (480i)	640 x 480	60	コンポーネントの場合
SDTV (480p)	640 x 480	60	
SDTV (576i)	720 x 576	50	
SDTV (576p)	720 x 576	50	
HDTV (720p)	1280 x 720	50/60	
HDTV (1080i)	1920 x 1080	50/60	
HDTV (1080p)	1920 x 1080	24/50/60	
HDTV (1080p)	1920 x 1080	240	
WQHD(1440p)	2560 x 1440	120	
UHD (2160p)	3840 x 2160	24/50/60	4K UHD の場合

コンピューターの互換性

VESA 規格 (コンピューター信号 (アナログ RGB の互換性)):

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	56/60/72	Mac 60/72
XGA	1024 x 768	60/70/75	Mac 60/70/75
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75	Mac 60/75
WXGA	1280 x 800	60	Mac 60
WXGA	1366 x 768	60	Mac 60
WXGA+	1440 x 900	60	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75	Mac 60/75
UXGA	1600 x 1200	60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200 (*)	60	Mac 60

注記: (*) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。

追加情報

PC のタイミングテーブル:

信号	解像度	水平周波数	リフレッシュレート	ビデオ	デジタル	注記
		(KHz)	(Hz)			
SVGA	800 x 600	35.2	56.3	該当なし	√	56Hz
SVGA	800 x 600	37.9	60.3	該当なし	√	60Hz
SVGA	800 x 600	46.9	75	該当なし	√	該当なし
SVGA	800 x 600	48.1	72.2	該当なし	√	72Hz
SVGA	800 x 600	53.7	85.1	該当なし	√	85Hz
SVGA	832 x 624		75	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	48.4	60	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	56.5	70.1	該当なし	√	70Hz
XGA	1024 x 768	60	75	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768	68.7	85	該当なし	√	該当なし
XGA	1024 x 768		120	該当なし	該当なし	該当なし
SXGA	1152 x 864		75	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720		50	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720		60	該当なし	√	該当なし
HD720	1280 x 720	92.62	120	該当なし	該当なし	該当なし
WXGA	1280 x 768	47.4	60	該当なし	√	該当なし
WXGA	1280 x 768		75	該当なし	√	該当なし
WXGA	1280 x 768		85	該当なし	√	該当なし
WXGA-800	1280 x 800		60	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	64	60	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	80	75	該当なし	√	該当なし
SXGA	1280 x 1024	91.1	85	該当なし	√	該当なし
SXGA+	1400 x 1050		60	該当なし	該当なし	該当なし
UXGA	1600 x 1200	75	60	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080		24	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080		50	該当なし	√	該当なし
HD1080	1920 x 1080		60	該当なし	√	該当なし
WUXGA	1920 x 1200		60	該当なし	√	RB
HDTV	1920 x 1080i		50	該当なし	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080i		60	該当なし	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p		24	該当なし	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p		50	該当なし	√	該当なし
HDTV	1920 x 1080p		60	該当なし	√	該当なし
HDTV	1280 x 720	45	60	√	該当なし	該当なし
HDTV	1280 x 720p		50	該当なし	√	該当なし
HDTV	1280 x 720p		60	該当なし	√	該当なし
SDTV	720 x 576	31.3	50	√	該当なし	該当なし
SDTV	720 x 576i		50	該当なし	√	該当なし
SDTV	720 x 576p		50	該当なし	√	該当なし
SDTV	720 x 480	31.5	60	√	該当なし	該当なし
SDTV	720 x 480i		60	該当なし	√	該当なし
SDTV	720 x 480p		60	該当なし	√	該当なし

注記: 「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該当なし」は、解像度が利用できないことを意味します。

追加情報

コンピューターの互換性 (Mac)

解像度	Hz	Macbook の互換性	Macbook Pro (Intel) の互換性	Power Mac G5 の互換性	Power Mac G4 の互換性
		デジタル	デジタル	デジタル	デジタル
800 x 600	60	√	√	該当なし	√
800 x 600	72	√	√	該当なし	√
800 x 600	75	√	√	該当なし	√
800 x 600	85	√	該当なし	該当なし	√
1024 x 768	60	√	√	該当なし	√
1024 x 768	70	√	√	該当なし	√
1024 x 768	75	√	√	該当なし	√
1024 x 768	85	√	√	該当なし	√
1280 x 720	60	√	√	該当なし	√
1280 x 768	60	√	√	該当なし	該当なし
1280 x 768	75	該当なし	該当なし	該当なし	√
1280 x 768	85	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
1280 x 800	60	該当なし	該当なし	該当なし	√
1280 x 1024	60	√	該当なし	該当なし	√
1280 x 1024	75	√	該当なし	該当なし	√
1920 x 1080	60	√	該当なし	該当なし	√
1920 x 1200 (*)	60	√	該当なし	該当なし	√
3840 x 2160	60	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

注記:

- (*) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。
- 「√」は、解像度がサポートされることを意味し、「該当なし」は、解像度が利用できないことを意味します。

HDMI 入力信号

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	Mac に関する注記
SVGA	800 x 600	60/72/85/120	Mac 60/72/85
XGA	1024 x 768	60/70/75/85/120	Mac 60/70/75/85
SDTV(480I)	640 x 480	60	
SDTV(480P)	640 x 480	60	
SDTV(576I)	720 x 576	50	
SDTV(576P)	720 x 576	50	
HDTV(720p)	1280 x 720	50/60	Mac 60
WXGA	1280 x 768	60/75/85	Mac 75
WXGA	1280 x 800	60/120	Mac 60
WXGA(*2)	1366 x 768	60	
WXGA+	1440 x 900	60/120(RB)	Mac 60
SXGA	1280 x 1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 x 1050	60/85	
UXGA	1600 x 1200	60/65/70/75/85	
HDTV(1080I)	1920 x 1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 x 1080	24/30/50/60/120	Mac 60
HDTV(1080p)	1920 x 1080	240	Mac 60
WUXGA	1920 x 1200(*1)	60	Mac 60RB

追加情報

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	Mac に関する注記
WQHD	2560 x 1440	60RB/120	
UHD(2160p)	3840 x 2160	24/30/50/60	Mac 24/30
UHD(2160p)	4096 x 2160	24/30/50/60	Mac 24

注記:

- (*1) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。
- (*2) Windows 10 標準タイミング。

拡張ディスプレイ識別データ (EDID) テーブル

デジタル信号(HDMI 2.0)

デジタルネイティブ解像度: 3840 x 2160 @ 60Hz

B0/確立タイミング	B0/標準タイミング	B0/標準タイミング	B1/ビデオモード	B1/詳細タイミング
800 x 600 @ 56Hz	1280 x 720 @ 60Hz	3840 x 2160 @ 60Hz (デフォルト)	1920 x 1080p @ 120Hz 16:9	2560 x 1440 @ 120Hz
800 x 600 @ 72Hz	1280 x 800 @ 60Hz		720 x 480p @ 60Hz 4:3	1920 x 1080 @ 240Hz
800 x 600 @ 75Hz	1280 x 1024 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 60Hz 16:9	
832 x 624 @ 75Hz	1920 x 1200 @ 60Hz		1920 x 1080i @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 60Hz	800 x 600 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 60Hz 16:9	
1024 x 768 @ 70Hz	1024 x 768 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 50Hz 16:9	
1024 x 768 @ 75Hz	1280 x 800 @ 120Hz		1920 x 1080p @ 24Hz 16:9	
1280 x 1024 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 24Hz 16:9	
1152 x 870 @ 75Hz			3840 x 2160 @ 25Hz 16:9	
			3840 x 2160 @ 30Hz 16:9	
			3840 x 2160 @ 50Hz 16:9	
			3840 x 2160 @ 60Hz 16:9	
			4096 x 2160 @ 24Hz	
			4096 x 2160 @ 25Hz	
			4096 x 2160 @ 30Hz	
			4096 x 2160 @ 50Hz	
			4096 x 2160 @ 60Hz	
			720 x 480p @ 60Hz 16:9	
			1280x720p @ 60Hz 16:9	
			1280 x 720p @ 50Hz 16:9	
			720 x 576p @ 60Hz 16:9	

注記: 1920 x 1080 @ 50Hz をサポートします

追加情報

3D タイミング

HDMI1.4a 3D タイミング (Blue-Ray 3D の場合):

信号	タイミング	サポートされているポート
720p (フレームパッキング)	1280 x 720 @ 50Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
720p (フレームパッキング)	1280 x 720 @ 60Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
1080p (フレームパッキング)	1920 x 1080 @ 23.98/24Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3

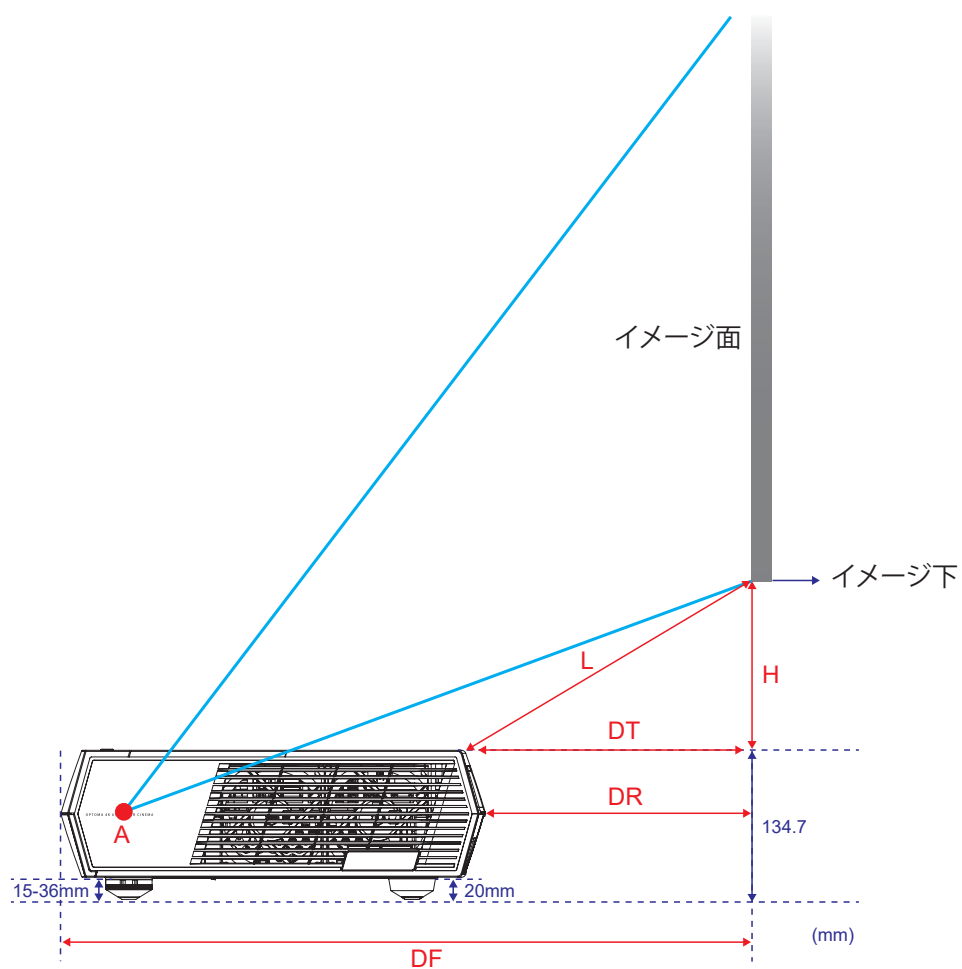
PC 3D タイミング:

信号	タイミング	サポートされているポート
フレームシーケンシャル	800 x 600 @ 120Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
フレームシーケンシャル	1024 x 768 @ 120Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
フレームシーケンシャル	1280 x 800 @ 120Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3
フレームシーケンシャル	1920 x 1080 @ 120Hz	HDMI1、HDMI2、HDMI3

追加情報

イメージサイズと投射距離

イメージサイズ (インチ)	DF		DR		DT		映像水平位置 オフセット = 121.5% ~ 130%		L オフセット = 121.5% ~ 130%	
	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ	m	インチ
85 インチ	0.530	20.876	0.147	5.774	0.166	6.518	0.176 ~ 0.266	6.92 ~ 10.462	0.241 ~ 0.313	9.507 ~ 12.327
90 インチ	0.558	21.983	0.175	6.881	0.194	7.625	0.189 ~ 0.284	7.447 ~ 11.198	0.271 ~ 0.344	10.658 ~ 13.547
100 インチ	0.615	24.197	0.231	9.095	0.250	9.839	0.216 ~ 0.322	8.501 ~ 12.668	0.33 ~ 0.407	13.003 ~ 16.04
110 インチ	0.671	26.411	0.287	11.309	0.306	12.053	0.243 ~ 0.359	9.555 ~ 14.139	0.391 ~ 0.472	15.381 ~ 18.579
120 インチ	0.727	28.625	0.343	13.522	0.362	14.266	0.269 ~ 0.396	10.609 ~ 15.61	0.452 ~ 0.537	17.779 ~ 21.147



追加情報

リモコンのコード



キー	キーコード	カスタムコード		キーコード		説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 3	
パワーオン		32	CD	02	FD	押すとプロジェクターの電源がオンになります。
ソース		32	CD	C3	3C	「ソース」を押して、入力信号を選択します。
バックライト		該当なし				バックライトを切り替えます。
再同期		32	CD	C4	3B	プロジェクターが自動的に入力ソースと同期します。
スリープタイマー		32	CD	63	9C	スリープタイマーの間隔を設定します。
キーストン		32	CD	7	F8	プロジェクターを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
アスペクト比		32	CD	64	9B	これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。
3D	3D	32	CD	89	76	3Dコンテンツに一致する3Dモードを手動で選択します。
輝度		32	CD	41	BE	画像の輝度を調整します。
コントラスト		32	CD	42	BD	映像の最暗部(黒)と最明部(白)の差の度合いを調整します。
ランプ		32	CD	0A	F5	輝度モードを選択します。

追加情報

キー		カスタムコード		キーコード		説明
		バイト 1	バイト 2	バイト 3	バイト 3	
CMS		32	CD	0B	F4	Optoma色管理システム (CMS) を起動します。(未サポート)
モード		32	CD	5	FA	さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレイモードを選択してください。27 ページを参照してください。
HDR		32	CD	0C	F3	HDR設定を構成します。
4 方向キー		32	CD	11	EE	項目を選択したり、選択を調整したりします。
		32	CD	14	EB	
		32	CD	10	EF	
		32	CD	12	ED	
入力		32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
戻る		32	CD	0D	F2	前のメニューに移動します。
メニュー		32	CD	0E	F1	プロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
音量 -		32	CD	8F	70	調整して、音量を下げます。
ミュート		32	CD	52	AD	オーディオをミュートします。
音量 +		32	CD	8C	73	調整して、音量を上げます。
HDMI1		32	CD	16	E9	HDMI1入力ソースを選択します。
HDMI2		32	CD	30	CF	HDMI2入力ソースを選択します。
HDMI3		32	CD	98	67	HDMI3入力ソースを選択します。
ユーザー1		32	CD	36	C9	「フォーカス -」に固定します。
ユーザー2		32	CD	65	9A	「フォーカス +」に固定します。
ユーザー3		32	CD	66	99	「HDMI3」に固定します。
ユーザー4		32	CD	09	F6	機能なし。

追加情報

トラブルシューティング

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

画像の問題

- ❓ スクリーンに画像が写らない
 - すべてのケーブルと電源が、15 ページに記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
 - 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。

- ❓ 画像のピントが合っていない
 - 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。42 ページを参照してください。
 - フォーカスを調整するには、リモコンの **[ユーザー1]** と **[ユーザー2]** ボタンを使用します。

- ❓ 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる
 - アナモフィック DVD または 16:9 DVD を再生しているとき、プロジェクターはプロジェクター側で 16:9 フォーマットで最高の画像を表示します。
 - 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
 - お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

- ❓ 画像が大きすぎるか、小さすぎる
 - プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
 - リモコンの「**目**」を押して、「OSD メニュー → ディスプレイ → アスペクト比」に進んでください。別の設定を試してみます。

- ❓ 画像が横に傾く:
 - 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。

- ❓ 画像が反転する
 - 「OSD メニュー → セットアップ → 設置モード」を選択し、投影方向を調整してください。

- ❓ 音が鳴りません
 - 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

- ❓ HDMI ARC ソースから音が聞こえない
 - 「OSD メニュー → オーディオ → オーディオモード → スピーカー/オーディオ出力、SPDIF / eARC」を選択します。別の設定を試してみます。

追加情報

その他の問題

- ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから $\pm 15^\circ$ 以上ずれていないことを確認します。
 - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクターから 6 m (約 19.6 フィート) 以内に移動する。
 - 電池が正しくセットされていることを確認する。
 - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

- 「光源」LED インジケータが赤く点灯し、「オンスタンバイ」インジケータが赤色に点滅している場合。
- 「温度」LED インジケータが赤く点灯し、「オンスタンバイ」インジケータが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- 「温度」LED インジケータが赤く点滅し、「オンスタンバイ」インジケータが赤色に点滅している場合。

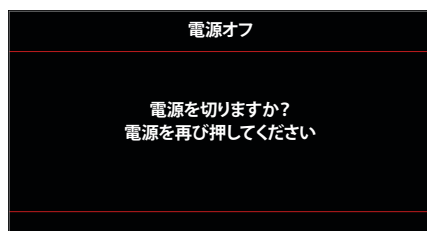
プロジェクタから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

追加情報

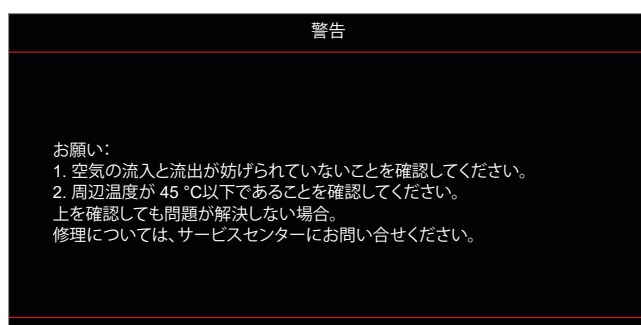
LED 点灯メッセージ

メッセージ	オン/スタンバイ LED		温度 LED	光源 LED
	(赤)	(白)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オンと光源オン		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。 冷却ファンがオフになると、 赤の点灯に戻ります。		
クイックレジューム (100 秒)		点滅 (0.25 秒オフ / 0.25 秒オン)。		
エラー (光源が異常です)	点滅			点灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

- 電源オフ:

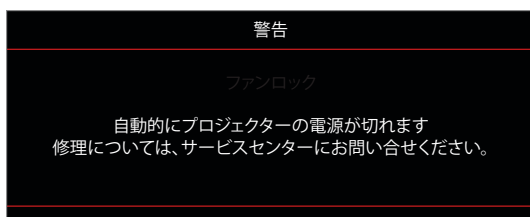


- 温度警告:



追加情報

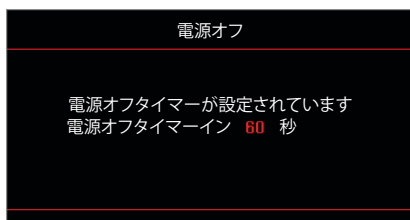
- ファンのトラブル:



- 表示範囲外:



- 電源ダウン警告:



追加情報

仕様

光学	説明
技術	Texas Instrument DMD、0.47 インチ (寸法)/4K UHD HSSI DMD X1 S451 (パッキングタイピング)、4 ウェイ XPR アクチュエーター付き
出力解像度	4K UHD 3840 x 2160 @ 60Hz
最大入力解像度	4096 x 2160 @ 60Hz
レンズ	<ul style="list-style-type: none">• スロー比: 0.254• F-停止: 2.04• 焦点距離: 525mm (90 インチ)• ズーム範囲: 該当なし
オフセット	253.2 ~ 334.2 mm (122.5% ~ 129%) (完全な高さ)
画像サイズ	85 インチ ~ 105 インチ (90 インチで最適化されます)
投影距離	478 mm (85 インチ) ~ 590 mm (105 インチ)
I/O	<ul style="list-style-type: none">• HDMI V2.0 x3 注記: HDMI 1 ポートは eARC と低遅延をサポートしています。• ファームウェアのアップグレードと電源 5V 1.5A 用の USB-A• RS232C オス (9 ピン D-sub)• ライン出力 (3.5mm)• SPDIF 出力 (2 チャンネル PCM、Digital (5.1))
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	<ul style="list-style-type: none">• 水平スキャン速度: 31.0 ~ 135.0 KHz• 垂直スキャン速度: 24 ~ 120 Hz
スピーカ	あり、10W x2
消費電力	<ul style="list-style-type: none">• スタンバイモード: < 0.5W• ブライトネスモード: 100%<ul style="list-style-type: none">• 240W (標準) ±15% @ 110VAC• 230W (標準) ±15% @ 220VAC• エコモード: 80%<ul style="list-style-type: none">• 185W (標準) ±15% @ 110VAC• 175W (標準) ±15% @ 220VAC
電力要件	100 ~ 240V ±10%、AC 50/60Hz
入力電流	2.5A
取り付け方向	フロント、リア、天井 - 上部、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	<ul style="list-style-type: none">• 576 x 383 x 114.7 mm (足を除く)(22.6 x 15.0 x 4.5 インチ)• 576 x 383 x 129.7 mm (足を含む)(22.6 x 15.0 x 5.1 インチ)
重さ	8.4 kg (18.5 ポンド)
環境	0 ~ 40°C、80% 湿度 (結露なし) で動作

注記: 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。




追加情報

Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。




米国

47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com




カナダ

47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com

中南米及びメキシコ

47697 Westinghouse Drive,
Fremont, CA 94539, USA
www.optomausa.com

 888-289-6786
 510-897-8601
 services@optoma.com



ヨーロッパ

Unit 1, Network 41, Bourne End Mills,
Hemel Hempstead, Herts,
HP1 2UJ, United Kingdom
www.optoma.eu
サービスダイヤル:
+44 (0)1923 691865

 +44 (0) 1923 691 800
 +44 (0) 1923 691 888
 service@tsc-europe.com




Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 820 0252
 +31 (0) 36 548 9052


フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20
 +33 1 41 46 94 35
 savoptoma@optoma.fr




スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
スペイン

 +34 91 499 06 06
 +34 91 670 08 32




ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

 +49 (0) 211 506 6670
 +49 (0) 211 506 66799
 info@optoma.de

スキャンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
Norway

 +47 32 98 89 90
 +47 32 98 89 99
 info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
ノルウェー

韓国




<https://www.optoma.com/kr/>

日本

<https://www.optoma.com/jp/>

中国

Room 2001, 20F, Building 4,
No.1398 Kaixuan Road,
Changning District
Shanghai, 200052, China
www.optoma.com.cn

 +86-21-62947376
 +86-21-62947375
 servicecn@optoma.com.cn

台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

